

15 食の安全・安心について

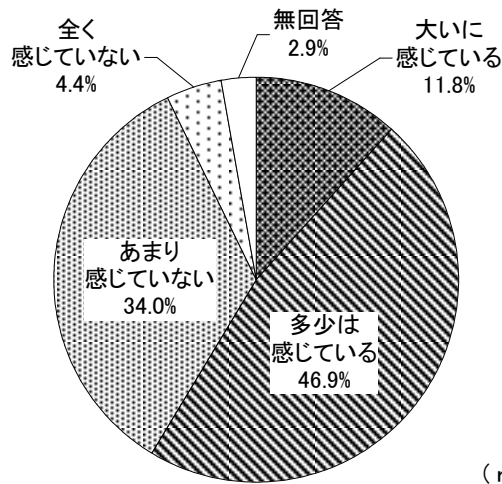
(1) 食品の安全性に対する不安

問41 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか。

次の中から1つ選んでください。

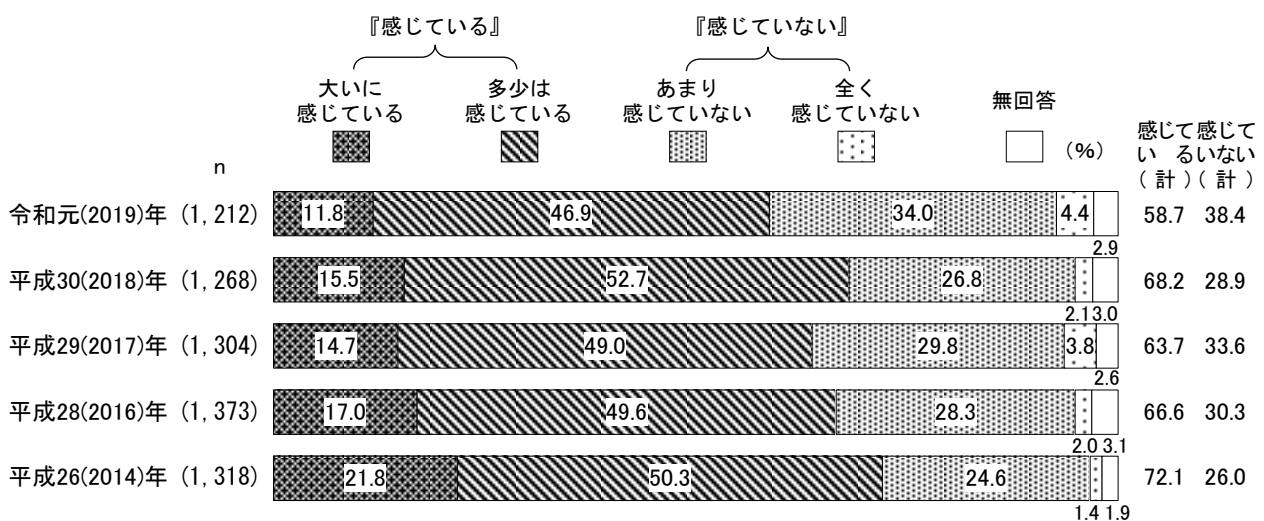
[n=1,212]

1	大いに感じている	11.8%	3	あまり感じていない	34.0%
2	多少は感じている	46.9%	4	全く感じていない	4.4%
				(無回答)	2.9%



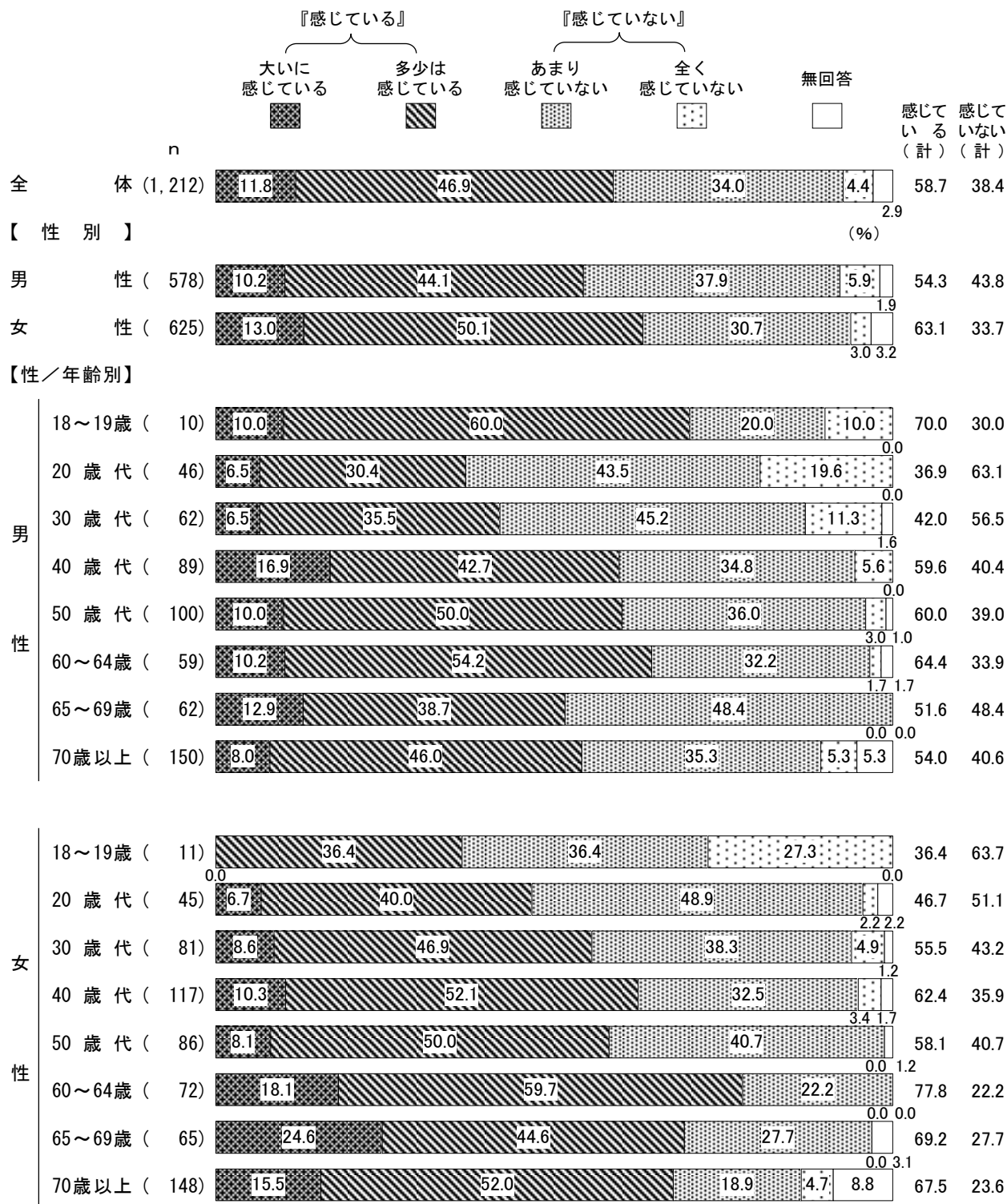
(n=1,212)

全体でみると、「大いに感じている」(11.8%)と「多少は感じている」(46.9%)の2つを合わせた『感じている』(58.7%)は6割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」(34.0%)と「全く感じていない」(4.4%)の2つを合わせた『感じていない』(38.4%)は4割近くとなっている。



過去の調査結果と比較すると、『感じている』が平成30(2018)年より9.5ポイント減少している。一方、『感じていない』が平成30(2018)年より9.5ポイント増加している。

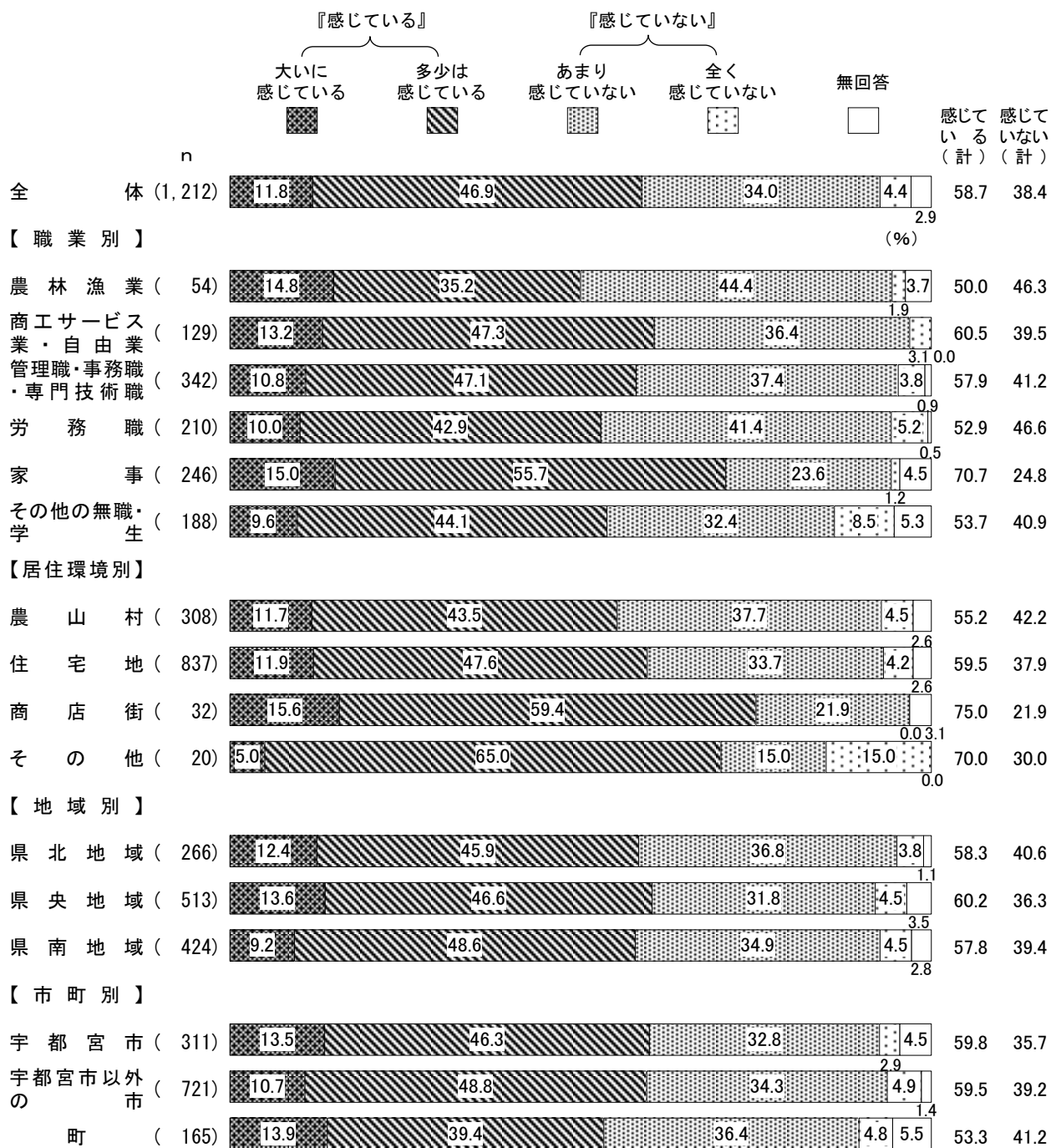
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『感じている』では〈女性〉(63.1%)が〈男性〉(54.3%)より8.8ポイント高くなっている。一方、『感じていない』では〈男性〉(43.8%)が〈女性〉(33.7%)より10.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『感じている』では〈女性60～64歳〉が77.8%、〈女性65～69歳〉が69.2%、〈女性70歳以上〉が67.5%と高くなっている。一方、『感じていない』では〈男性20歳代〉が63.1%、〈男性30歳代〉が56.5%、〈女性20歳代〉が51.1%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、『感じている』では〈家事〉が70.7%と高くなっている。一方、『感じていない』では〈労務職〉が46.6%、〈農林漁業〉が46.3%と高くなっている。

居住環境別でみると、『感じている』では〈商店街〉が75.0%と高くなっている。一方、『感じていない』では〈農山村〉が42.2%と高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

市町別でみると、『感じている』では〈宇都宮市〉が59.8%、〈宇都宮市以外の市〉が59.5%となっており、〈町〉(53.3%)に比べて高くなっている。

(1-1) 食品の安全性について不安に思うもの

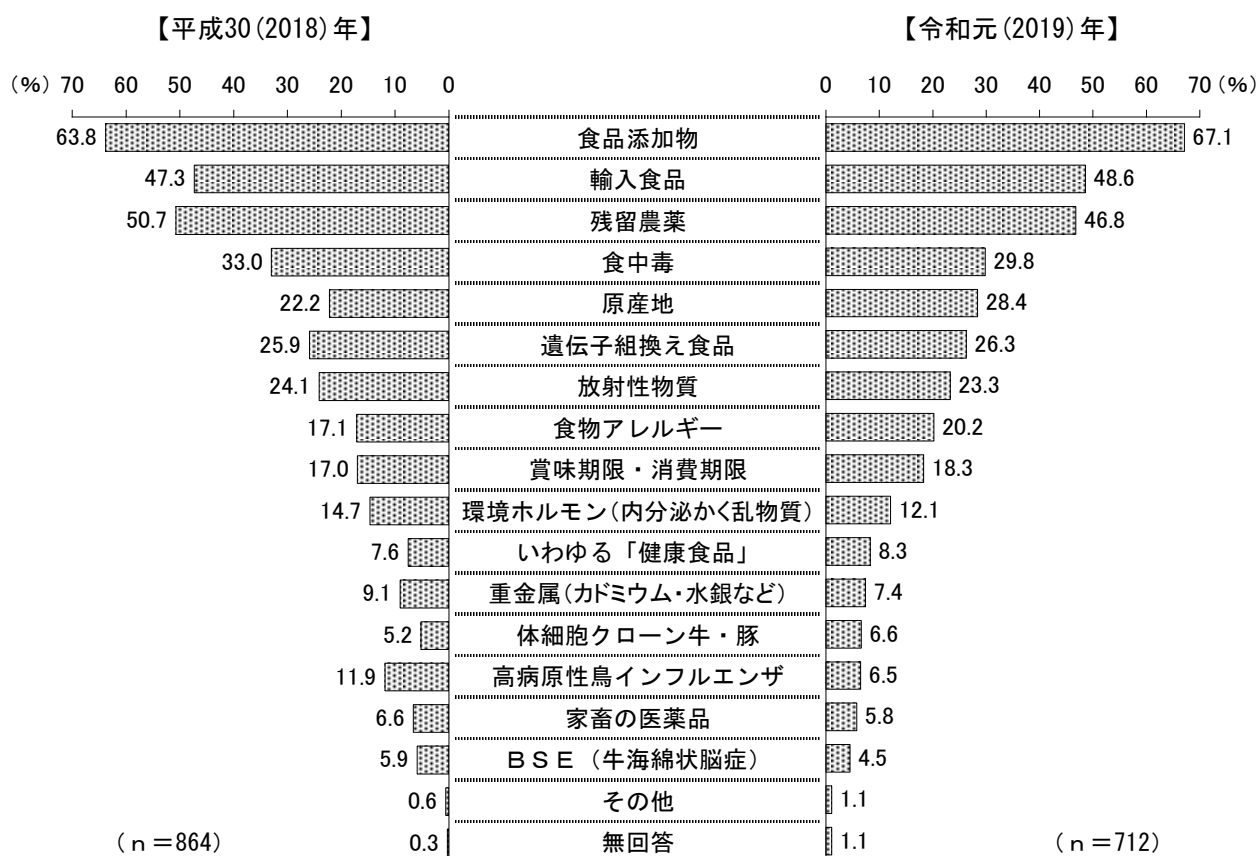
(問41で選択肢「大いに感じている」、「多少は感じている」を選んだ方のみお答えください)

問41-1 あなたは、食品の安全性のどのような部分について不安を感じていますか。

次の中から4つまで選んでください。

[n=712]

1	残留農薬	46.8%	10	重金属(カドミウム・水銀など)	7.4%
2	食品添加物	67.1	11	食中毒	29.8
3	環境ホルモン(内分泌かく乱物質)	12.1	12	いわゆる「健康食品」	8.3
4	遺伝子組換え食品	26.3	13	原産地	28.4
5	BSE(牛海綿状脳症)	4.5	14	輸入食品	48.6
6	高病原性鳥インフルエンザ	6.5	15	賞味期限・消費期限	18.3
7	体細胞クローン牛・豚	6.6	16	放射性物質	23.3
8	食物アレルギー	20.2	17	その他	1.1
9	家畜の医薬品	5.8		(無回答)	1.1

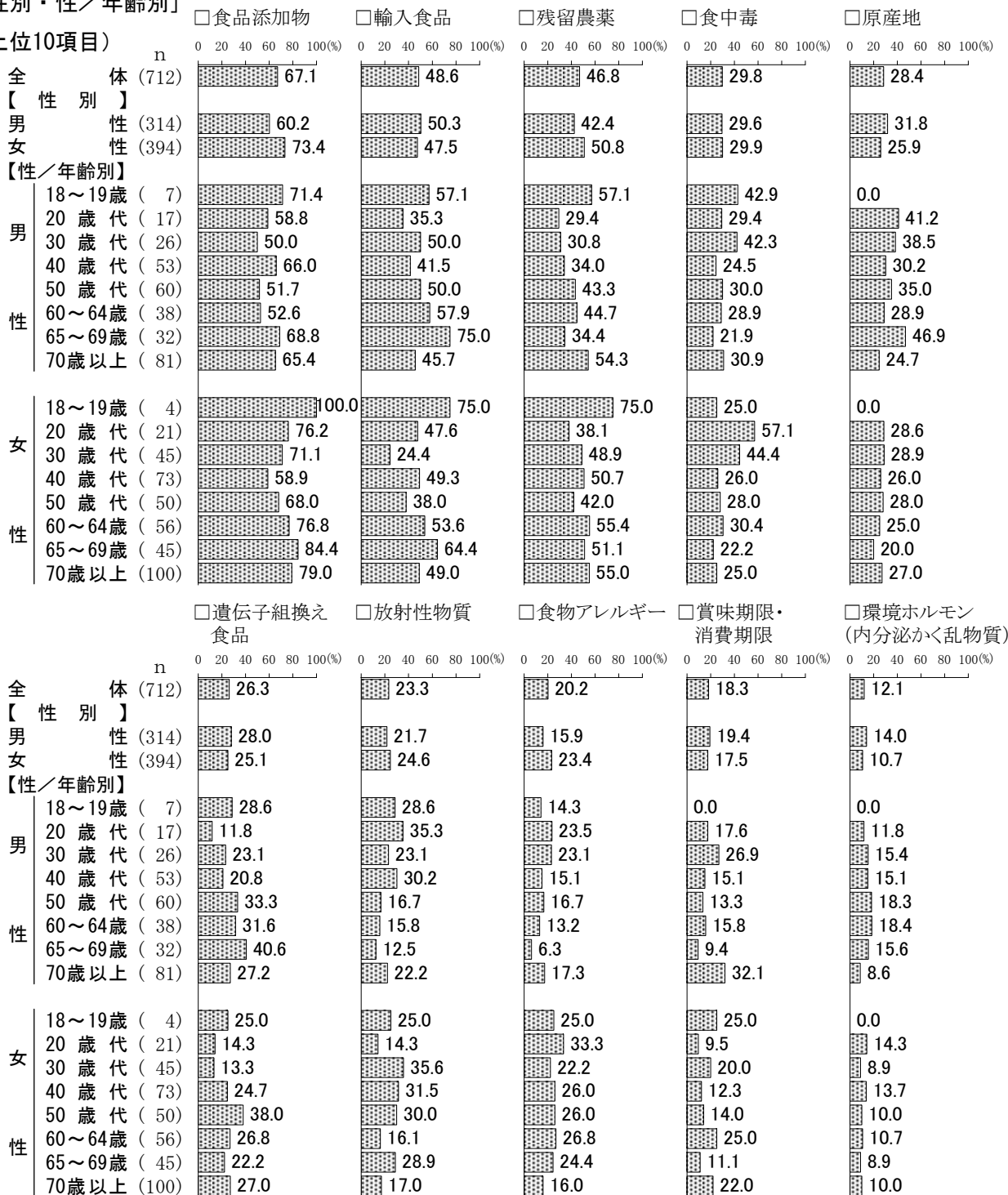


全体で見ると、「食品添加物」(67.1%)が7割近くで最も高く、次いで「輸入食品」(48.6%)、「残留農薬」(46.8%)、「食中毒」(29.8%)、「原産地」(28.4%)の順となっている。

平成30(2018)年の調査結果と比較すると、「原産地」は6.2ポイント増加している。一方、「高病原性鳥インフルエンザ」は5.4ポイント減少している。

[性別・性／年齢別]

(上位10項目)

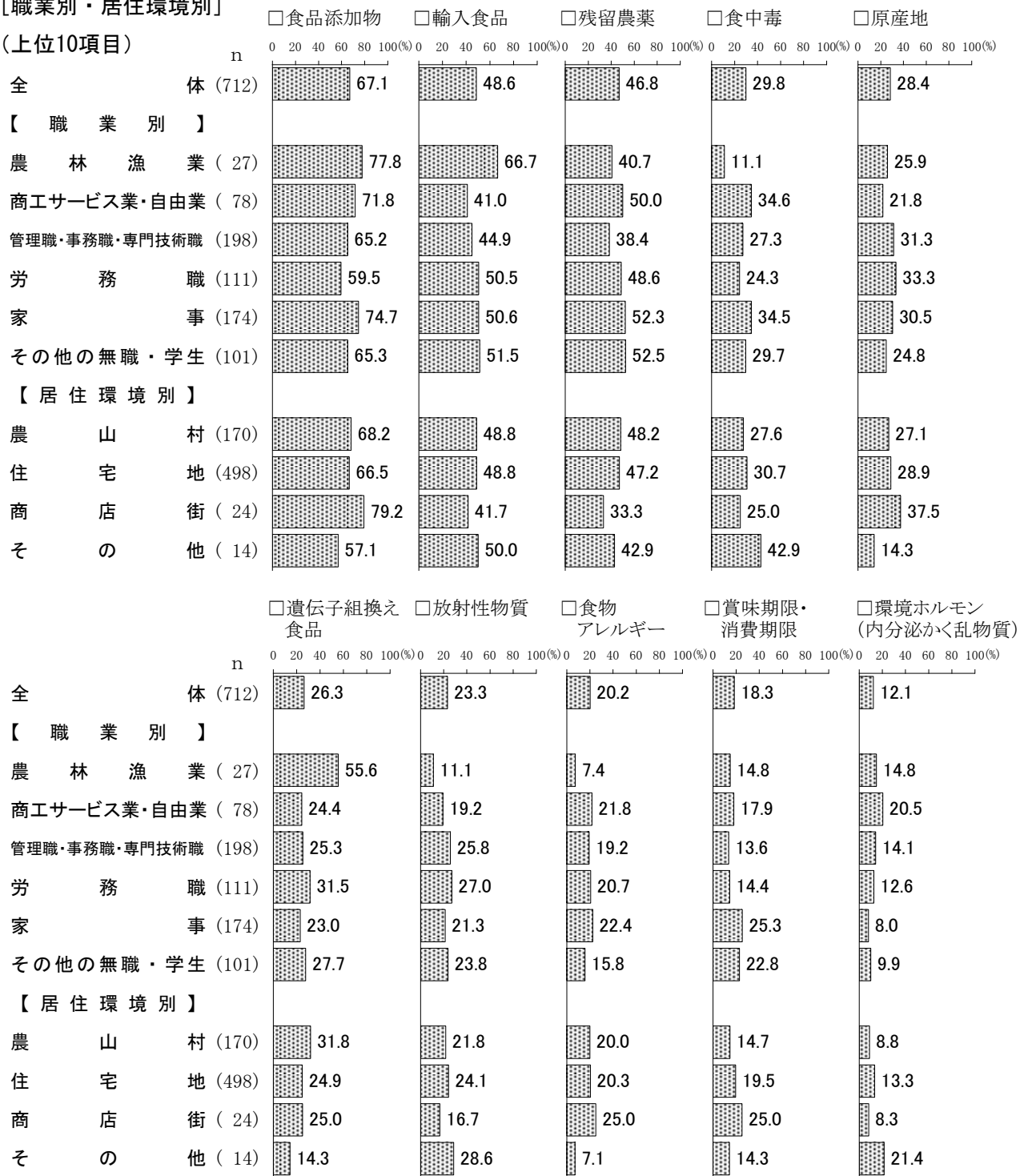


性別でみると、「食品添加物」では〈女性〉(73.4%)が〈男性〉(60.2%)より13.2ポイント高くなっている。「残留農薬」では〈女性〉(50.8%)が〈男性〉(42.4%)より8.4ポイント高くなっている。「食物アレルギー」では〈女性〉(23.4%)が〈男性〉(15.9%)より7.5ポイント高くなっている。「原産地」では〈男性〉(31.8%)が〈女性〉(25.9%)より5.9ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「食品添加物」では〈女性65~69歳〉が84.4%、〈女性70歳以上〉が79.0%と高くなっている。「輸入食品」では〈男性65~69歳〉が75.0%、〈女性65~69歳〉が64.4%と高くなっている。「食中毒」では〈女性30歳代〉が44.4%と高くなっている。「原産地」では〈男性65~69歳〉が46.9%と高くなっている。「遺伝子組換え食品」では〈男性65~69歳〉が40.6%、〈女性50歳代〉が38.0%と高くなっている。

[職業別・居住環境別]

(上位10項目)



職業別で見ると、「食品添加物」では〈家事〉が74.7%と高くなっている。「残留農薬」では〈その他の無職・学生〉が52.5%、〈家事〉が52.3%と高くなっている。「原産地」では〈労務職〉が33.3%と高くなっている。

居住環境別で見ると、「遺伝子組換え食品」では〈農山村〉が31.8%と高くなっている。